

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10020050

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川・ボンオコツナイ川附帯工事及び附帯委託 ・河川公園施設他整備 ・町有地実測調査設計及び用地確定調査委託 ・本町地区代替地他整備工事
基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	A	
単位施策	1 災害予防対策・危機管理対策の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町都市対策事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	整備河川数		#N/A	
事業目標	2河川	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加 住民協働	有 川づくり検討委員会の開催	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度		
全 体 計 画 事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容		
計 画 内 容	・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川・ボンオコツナイ川附帯工事及び附帯委託 ・河川公園施設他一式	・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川・ボンオコツナイ川附帯工事及び附帯委託 (上水道、下水道移設)	・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川附帯工事 (下水道移設・道路整備) ・河川公園施設他整備計画 策定委託	・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・ボンオコツナイ川附帯委託 (下水道移設) ・ボンオコツナイ川河川公園施設 整備(照明ケーブル)	・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川・ボンオコツナイ川 附帯工事、附帯委託 (上水道、下水道移設、道路整備)	・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川・ボンオコツナイ川 附帯工事 (上水道、道路整備) ・オコツナイ川・ボンオコツナイ川 河川公園施設整備 (ベンチ・四阿・照明)		
	計 画 事 業 費	事業費(千円)	342,852	54,310	78,172	15,040	125,800	69,530
実 績 事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	0					
		道支出金	272,055	51,861	71,233	14,540	106,087	28,334
		地方債	0					
		その他	0					
		一般財源	70,797	2,449	6,939	500	19,713	41,196
実 績 事 業 費	財 源 内 訳	事業費(千円)	130,221	46,502	68,592	15,127	0	0
		国庫支出金	0					
		道支出金	119,795	44,535	61,686	13,574		
		地方債	0					
		その他	0					
	一般財源	10,426	1,967	6,906	1,553			
関 連 事 項	特定財源の名称 道委託金 オコツナイ川・ボンオコ ナイ川附帯工事委託金	【評価・実績】	(実施内容等) ・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川・ボンオコツナイ川 附帯工事及び附帯委託 (上水道、下水道移設) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川附帯工事 (下水道移設・道路整備) ・河川公園施設他整備計画 策定委託 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・ボンオコツナイ川附帯委託 (下水道移設) ・ボンオコツナイ川河川公園施設 整備(照明ケーブル) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	2河川	2河川	2河川	2河川	2河川	
		年度達成率		86%	88%	101%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率		14%	34%	38%	38%	38%
	備考欄							

事業名	雄武町都市対策事業	評価者	管理職 職氏名	課長	山崎佳之
		評価者	作成者 職氏名	係長	永井栄次

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民・河川	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)									
【抱える課題やニーズは】	河川の氾濫	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	安全で災害に強い河川整備を目指す。	① 整備河川数/整備河川数の実績	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成27年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>2河川</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>2河川</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成27年度	目標値	2河川	実績値	2河川	達成度	100.0%
目標年度	平成27年度										
目標値	2河川										
実績値	2河川										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	災害に強い河川整備による地域住民の安全確保	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成27年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成27年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成27年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	北海道との協議、打合せ	オコツナイ川、ポンオコツナイ川に係る河川整備について、網走建設管理部興部出張所と協議、打合せを行った。									
	民間業者による委託・工事の実施	民間業者の入札・見積合わせにより、ポンオコツナイ川の支障物件移設設計委託(下水道)・照明地下埋設ケーブル設置工事を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うためには、欠くことのできない事業であり町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、河川整備が円滑に進められる環境が整えられた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	河川本体整備年次と調整を計りながら、支障物件移設設計を行い、移設に向けた準備を行うことは、河川整備を円滑に進めるうえで効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うためには、欠くことのできない事業であり、今後も計画通り事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
北海道により実施されている事業であるため、継続・現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止